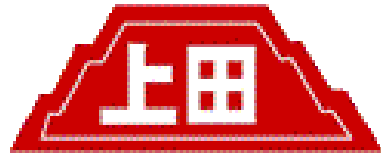


「校章」について



作られた経緯を調べました。

☆私たちの生徒手帳の3ページ目には、次のように記してあります。

「校章は丘を象徴にした台形に赤色の染色を配し、それに上田の文字を入れたものである。

（本校50年史—昭和23年（1948）年より） デザインは当時在職の菱田武夫教諭の手によるもの」

☆校章がつくられるまでの経緯については、2001（平成13）年発行の『上田染谷丘高校百年誌』に記されています。

「関係者の記憶では『三段以外に五段のものや単なる台形のものも候補にあがっていた』との声もありましたが、5月12日（1948年）…の前後に決定されたと推定されます。」

☆また、校章をデザインした菱田武夫先生が書簡（平成4年7月 旧同窓会長 須田美智子様宛）の中で以下のように述べています。

「時期は忘失。

当時丸山諒男校長より校章制作の話があり、自分としては一般生徒公募を上申したが、再三の勉強があつて、己むを得ず承託。条件としては、私案としては最初より花卉文様は除外のこと。以後約半ヶ月、参考書をとんでも適当なものはなく、染谷丘の校名より、山・丘を主眼に考え、その間、エジプトの古文献よりの記憶より、現在の段丘型の校章を考案。

第一に「上田」の文字を明瞭簡略に、色は最初よりの思案通り。七宝焼故に紅色が明るく、薄すぎたり、全体として暗く濁り過ぎたりで二、三回焼き直し、大体現在のものに落付いたものです。以上記憶より

平成四年七月

菱田武夫 』

☆さらに、かつて本校で教鞭をとられた国語科の先生（お名前等は不明）による解釈では、

- ・現在の校舎は丘の上に立っているが、かつての上田染谷丘高等学校の校舎は、今の長野県上田合同庁舎の位置にあった。当時の上田染谷丘高等学校校舎の東の方向にある河岸段丘（現在の上田第一中学校のある台地で染屋台地という）をデザインしたのが現在の校章の形。…ただし、この解釈は実際にデザインを手掛けた菱田武夫先生の手紙の内容と違っている
- ・学校名は「染屋」から1字変わって「染谷」となった。
- ・昭和48（1973）年に長野県の12通学区制実施に連動して現在の校舎に移転したが、それと同時に男女共学になった。